

SPIRAL

Annual Report

2013

Exhibition

Dance / Performing Arts

Music

Shop

Food and drink

Beauty

Produce

Lecture & Workshop



SPIRAL

Annual Report 2013

スパイラル活動報告2013

INDEX

展覧会

- 2 ● SICF14 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル
- 4 ● サモン・タカハシ展「宇宙(そら)をあるく - IN THE SKY I AM WALKING -」
- 6 ● 島崎信+織田憲嗣が選ぶ ハンス・ウエグナーの椅子展
- 8 ● ジ・アートフェアズ：+ブリュスーウルトラ 2013
- 10 ● NUMEN / FOR USE Exhibition『TAPE TOKYO』
- 12 ● 「声」にまつわる森本千絵展
- 14 ● 「赤塚不二雄のココロ」展 - 2015年は生誕80年なのだ! -

ダンス／パフォーマンス・アーツ

- 16 ● スパイラル芸能の宴2013『花方』～序章「花の宴」／～第一章「星逢いの宴」
- 18 ● POWER OF ART DANCE SERIES vol.2 上村なおか 森下真樹 駆ける女
- 20 ● スパイラル 聲明コンサートシリーズ vol.22「千年の聲」
『散華』と『錫杖』— 伝統の継承と発展〈天台聲明・真言聲明・新作聲明〉

音楽

- 22 ● Goro Ito《POSTLUDIUM》
- 23 ● 中島ノブユキ《clair-obscure》
- 24 ● MEGASTAR × CAY Presents Cosmos
星に囲まれたコンサート ～Let me play among the stars～

販売

- 26 ● 「+S」Spiral Market 丸の内
- 28 ● Spiral Market Selection
- 30 ● minä perhonen + musubi ちょうむすび

料飲

- 32 ● Spiral Café

美容

- 34 ● NAIL ART DESIGN BOOK

プロデュース

- 36 ● 道後オンセナート 2014 (DOGO ONSENART 2014)
- 37 ● 石本藤雄展『布と遊び、土と遊ぶ』
- 38 ● 西野康造《Sky Memory》設置
- 39 ● 鈴木康広「屋根のベンチ」設置
- 40 ● Pip&Pop《mt factory tour vol.3》“Through a hole in the mountain”
- 41 ● 柏の葉キャンパスシティ「ビノキオプロジェクト」、「ひかりの実」ワークショップ
- 42 ● 象の鼻テラス

レクチャー&ワークショップ

- 44 ● 美しい暮らしの学校



SICF14 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル



「SICF」(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)は、スパイラルが次代を担うクリエイターの発掘と支援を目的とした公募形式のアートフェスティバルです。

期間中、会場には50のブースが並び、2会期に分けて合計100組のクリエイターによる、絵画、写真、映像、プロダクト、立体作品、インスタレーションやそれらの垣根を越えた表現、またそのどれにもあてはまらないプレゼンテーションなど、既成の価値観にとらわれない質の高い作品群で会場が埋め尽くされます。

SICF14では、多重人格障害として知られる実在の人物ビリー・ミリガンをモチーフとした子供用ブランコ型の作品『首吊りビリー』を出展した塩見友梨奈がグランプリを受賞。

最終日5月6日の授賞式の様子はUSTREAMでも配信されました。

グランプリ	塩見友梨奈
準グランプリ	石野平四郎
準グランプリ	クラークソン 瑠璃
浅井隆賞	鈴切り絵
後藤繁雄賞	若生友見
佐藤尊彦賞	杉本格朗
紫牟田伸子賞	GABOMI
オーディエンス賞	osage
スパイラル奨励賞	栗田有佳



開催概要

日時：A日程 2013年5月3日(金・祝日)～4日(土・祝日)
B日程 2013年5月5日(日・祝日)～6日(月・振替)
*両日程ともに50組2日間ずつ

会場：スパイラルホール

審査員(敬称略)

浅井隆(有限会社アップリンク 社長/「webDICE」編集長)
後藤繁雄(編集者/クリエイティブディレクター)
佐藤尊彦(株式会社ビームス プレス)
紫牟田伸子(編集家/プロジェクトエディター)
岡田勉(スパイラル チーフキュレーター)

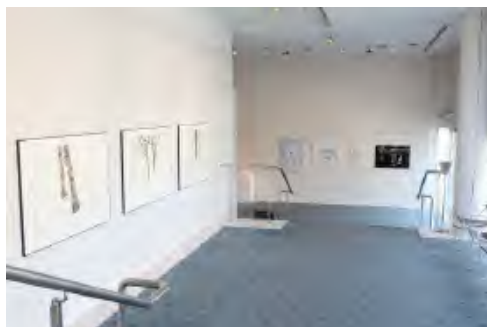
主催：株式会社ワコールアートセンター

協力：CLIP/株式会社ステージフォー/日本ノボパン工業株式会社

企画制作：スパイラル

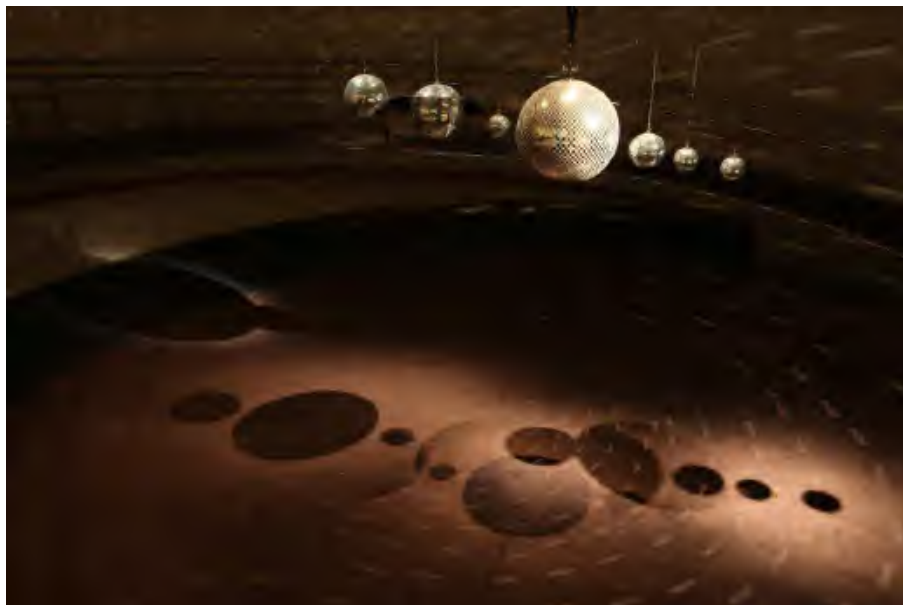
グラフィックデザイン：FORM::PROCESS

記録写真：市川勝弘





サモン・タカハシ展 「宇宙(そら)をあるく -IN THE SKY I AM WALKING-



パリを拠点に世界各地で活動を行うアーティストのサモン・タカハシによる個展「宇宙をあるく-IN THE SKY I AM WALKING-」

サモン・タカハシは、高度にテクノロジーが発達した現代においてもなお科学では説明しきれない事象、現代人だからこそ抱える矛盾、空想世界に存在する極限的な美しさや可能性に注目し、「アートにできることは何か」という問いに真摯に向きあってきました。

スパイラルガーデンでは、太陽系を想像させるミラーボールを用いた光の作品、サウンドインスタレーションなどの作品を展示しました。

開催概要

会期：2013年6月25日(火)～6月30日(日)
会場：スパイラルガーデン
主催：株式会社ワコールアートセンター
企画制作：スパイラル
後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本
制作協力：アマナマナ
記録写真：市川勝弘

関連企画

OuUnPo企画プロジェクト
「Godzilla and The Phoenix」

サモン・タカハシが中心メンバーをつとめ、アーティストやキュレーター、研究者など10か国16名のメンバーからなるグループOuUnPo。



6月18日(火)～6月27日(木)にかけて、「Godzilla and the Phoenix」と題し、東京と横浜の複数の美術館やギャラリーを拠点にセッションを行いました。

スパイラルマーケットに出没する見慣れない店員、突如コンサート会場へと変貌を遂げるスパイラルガーデン、非常階段の壁面に展開された荒木経惟の写真作品「色事」(1994年)の前で繰り広げられる詩の朗読等、6月25日にスパイラル館内のさまざまな場所を使ってパフォーマンスを繰り上げました。

開催概要

会期：2013年6月25日(火)
会場：CAY(B1F)、スパイラルガーデン(1F)、スパイラルマーケット(2F)、
アンクルハット(9F)ほか
主催：OuUnPo
企画制作：スパイラル
制作協力：Queen's Ostrich、チームけんちく体操、武蔵野美術大学、Archivista、
メガネ、ナジョモ
会場協力：株式会社ワコールアートセンター



島崎信＋織田憲嗣が選ぶ ハンス・ウェグナーの椅子展



時を超えて愛され続ける、巨匠ハンス・ウェグナー。
そのものづくりを紐解く、大規模な個展。

デンマークを代表する家具デザイナーの一人、ハンス・ウェグナー（1914～2007年）。生涯に500脚以上の椅子をデザインしたと言われ、世界で50万脚以上が販売されている「Yチェア」や、「椅子の中の椅子」という異名を持つ「ラウンドチェア（通称ザ・チェア）」をはじめ、時代を超えて愛される数々の名作を生み出してきました。

本展では、生前のウェグナーと深い親交をもち、北欧デザイン研究の第一人者としても知られる島崎信氏と、椅子研究家である織田憲嗣氏を監修に迎え、両氏が選んだ60脚以上の椅子を中心に、「使う」「見る」「買う」という3つの側面から、そのものづくりを紐解きました。現在も生産が続けられている定番品、今日では生産されていない椅子、試作のみで生産されなかった椅子などの歴史的価値が高い作品に加え、木材パーツやミニチュア、自邸の模型などの貴重な資料も展示。

見て、触れ、実際に座ってその変遷を追うことで、ウェグナーのデザインのルーツや、変化する技術・社会的な状況に対する柔軟な姿勢、また、「暮らす」とそのものへと注がれた丁寧なまなざしを感じられるような構成としました。

開催概要

会期：2013年9月27日（金）～10月14日（月・祝）

会場：スパイラルガーデン

主催：「島崎信＋織田憲嗣が選ぶハンス・ウェグナーの椅子展」実行委員会
（株式会社ワコールアートセンター、NPO法人東京・生活デザインミュージアム、北欧家具talo）

監修：島崎信、織田憲嗣

後援：デンマーク大使館、日本インテリア学会、北欧建築・デザイン協会

協賛：カール・ハンセン＆サン ジャパン株式会社、デンニッシュインテリアス株式会社、
REPUBLIC OF FRITZ HANSEN STORE AOYAMA、スカンジナビアン リビング

協力：武蔵野美術大学 美術館・図書館、浜田由一、松沢栄一、リビングデザインセンター
OZONE/nordic form、LIXILブックギャラリー（販売、書籍セレクト協力）

企画制作：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

会場デザイン：中野公力

記録写真：加藤 健



ジ・アートフェアズ：+プリュスーウルトラ 2013



アートの「いま」に触れ、アートをもっと身近にする統合型アートフェア。

「ウルトラ」は、ギャラリーで実際に作家や作品を選ぶディレクター個人を出展単位としたユニークなアートフェアです。2008年のスタート以来、高い話題性と多くの動員で秋の恒例イベントとして定着し、今回で6回目を迎えました。その特徴は、若手のディレクターが、ギャラリーの一員としてではなく、自分の名前で本当に紹介したいアート作品を出品することです。2013年は2会期にわけて52名のディレクターが出展。展示作品からはアート界の「いま」と「これから」を担うディレクターの新鮮な感性をお楽しみいただきました。

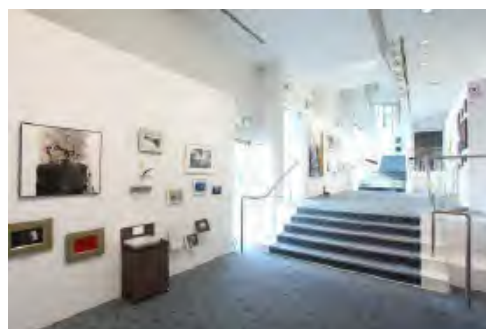
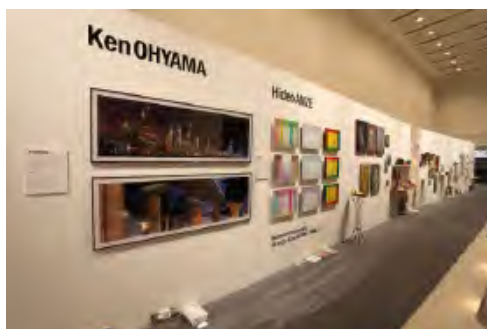
「+プリュス」は、2012年に「ウルトラ」と統合する形で再スタートしたアートフェアで、高い実績と信頼を誇る7つのギャラリーが厳選した作品群が揃います。日本のアートシーンを牽引するアーティストたちによる質の高い作品を、コレクターはもちろん、より多くの方に身近にご覧いただけるよう今年から会場をスパイラルガーデンへと移して開催しました。

会期中は、オープニング・パーティー、ベストセールズ／ベストウォールの各顕彰を発表するクロージングパーティーなどの多彩なイベントで、来場者とアートをつなぐ多角的な接点を創出し、日本の美術マーケット再活性化の一翼を担うべく、更なる進歩を図りました。

開催概要

- +プリュス：ジ・アートフェア004
会期：2013年11月1日(金)－11月4日(月・祝)
- エマージング・ディレクターズ・アートフェア「ウルトラ006」
会期：オクトーバー・サイド 2013年10月26日(土)－10月29日(火)
ノヴェンバー・サイド 2013年11月1日(金)－11月4日(月・祝)

会場：スパイラルガーデン
主催・企画制作：システム：ウルトラ(スパイラル/株式会社ワコールアートセンター、株式会社レントゲンヴェルケ)
記録写真：市川勝弘





NUMEN / FOR USE Exhibition 『TAPE TOKYO』



クロアチア、オーストリア、ドイツを拠点に活動しているNUMEN / FOR USE(ヌーメン／フォー ユース)のアジア初個展を開催しました。

NUMEN / FOR USEは、インダストリアルデザイングループとして1998年に結成後、空間デザイン、舞台美術やインスタレーションまで、領域を超えた様々な分野で活躍するアーティスト集団です。

本展『TAPE TOKYO』では、彼らの代表作であるビニールテープを幾重にも巻きつけて作られた巨大な「TAPE INSTALLATION(テープインスタレーション)」をスパイラルのガーデンにて展示しました。

会期前半は、アーティストと日本での一般公募で募ったアシスタントによって、日ごとに変化しながら創り上げられる作品の制作過程を一週間にわたり公開し、作品完成後、来場者はインスタレーションの内部にまで入り、包み込まれるような感覚の中、作品を鑑賞する事ができるダイナミックな展示となりました。

また、本作を舞台としたコンテンポラリーダンス公演や建築家と作家のトークプログラムなど、作品を通じて、人々が集い、皆でその“場”を共有できるプログラムを開催しました。

開催概要

公開制作：2013年11月18日(月)～11月24日(日)
作品展示：2013年11月25日(月)～12月4日(水)
会場：スパイラルガーデン
主催：株式会社ワコールアートセンター
助成：EU・ジャパンフェスト日本委員会
特別協力：東京ドイツ文化センター
協力：オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム
資材協力：住友スリーエム株式会社
後援：駐日クロアチア共和国大使館
企画制作：スパイラル
記録写真：加藤純平

関連イベント

ダンスパフォーマンスプログラム『TAPE+DANCE』
●オープニングレセプションでのダンスパフォーマンス
2013年11月25日(月) 出演：安藤洋子、大植真太郎、柳本雅寛
●Co.山田うんによるダンスパフォーマンス
2013年11月29日(金) 出演：Co.山田うん
トークプログラム 2013年11月26日(火)
出演：スヴェン・ヨンケ(NUMEN / FOR USE)
谷尻誠(SUPPOSE DESIGN OFFICE)





「声」にまつわる森本千絵展



スパイラルホールで開催した舞台公演「声」(演出:三谷幸喜、出演:鈴木京香)の美術を手掛けた森本千絵が、ジャン・コクトーの原作にインスピレーションを得て、もうひとつの「声」の世界としてスパイラルガーデンにて同期間に展覧会を開催しました。

写真家の上田義彦、音楽家の高木正勝、開発ユニットのAR三兄弟をはじめ、三谷幸喜、鈴木京香も参加。

アトリウムに吊るされた、展覧会を象徴する作品「受話樹」では、声の養分を吸い上げ深呼吸するかのように、スパイラルのエントランスの電話ボックスとSNSで集められた数多くの人の声が空間を満たしました。

開催概要

会期：2013年12月18日(水)－26日(木)
会場：スパイラルガーデン
主催：「声」にまつわる森本千絵展 実行委員会
協賛：凸版印刷株式会社
出力協賛：キヤノンマーケティングジャパン株式会社
企画制作：シス・カンパニー、スパイラル
企画協力：goen°
記録写真：市川勝弘

関連プログラム

「声」にまつわる森本千絵展スペシャルライブ

2013年12月18日(水)

出演：近藤良平(Dance)

坂本美雨(vo)

高木正勝(pf)

中村達也(Dr)

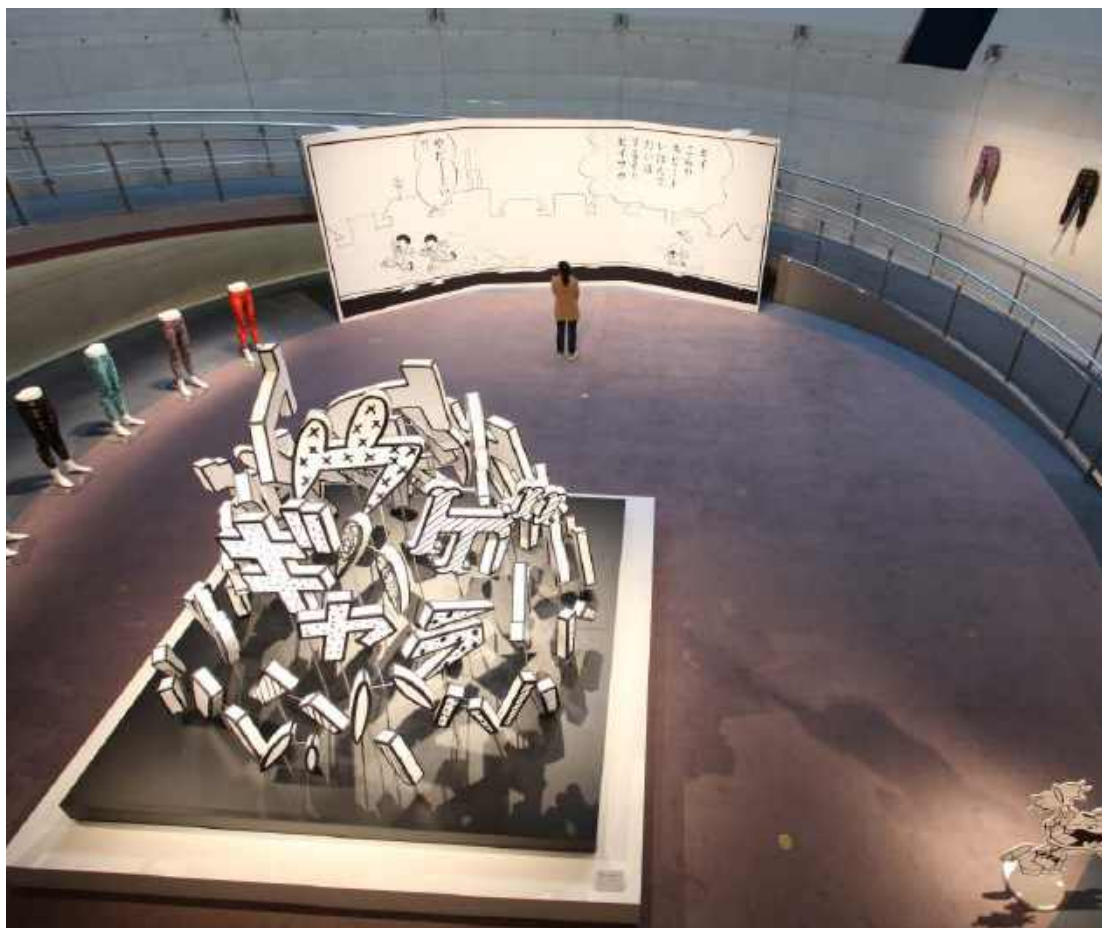
レオナ(Tapdance)

(五十音順)





「赤塚不二夫のココロ」展 -2015年は生誕80年なのだ!-

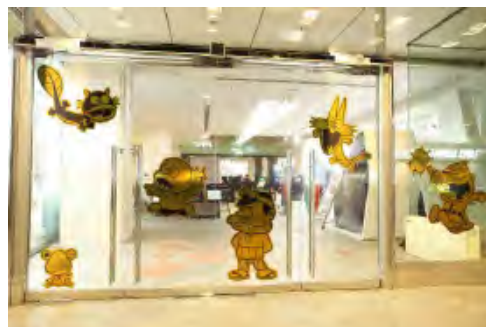
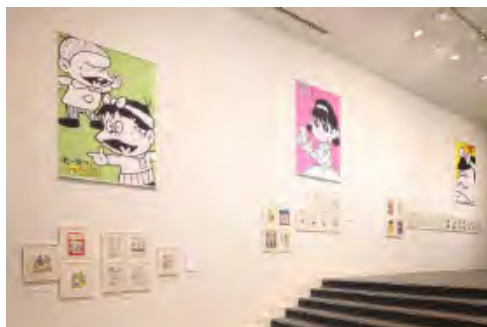


2015年に生誕80年を迎える国民的漫画家・赤塚不二夫と、機能性コンディショニングウェアブランド「CW-X」とのコラボレーションを記念し、新商品のお披露目と合わせた展覧会を開催しました。

赤塚りえ子の作品「家訓」や漫画の一コマを書割にした“撮影コーナー”、貴重な複製原画等も展示。展覧会の会期中、エントランスのCW-Xコンディショニングストア青山では、赤塚不二夫×CW-X 2014限定オリジナルタイツ全デザイン・5種類の販売を行い人気を博しました。

開催概要

会期：2014年1月4日(土)～19日(日)
会場：スパイラルガーデン
主催：「赤塚不二夫のココロ」展実行委員会
特別協賛：株式会社ワコール「CW-X」
協力：株式会社フジオ・プロダクション
企画制作：スパイラル
記録写真：市川勝弘





スパイラル芸能の宴2013『花方』～序章「花の宴」／～第一章「星逢いの宴」



— 青山亭へようこそ。

スパイラルホールを青山亭と称し、テレビ出演などでユニーク且つ的確な視点で注目を集めている作家の岩下尚史が青山亭主人となり、日本の伝承芸能の目利きである主人の目になった、芸も姿も見目麗しい伝承芸能各界の花方と共に、芸とトークをお楽しみ頂く「花方」。

代々続く日本の文化に理解を深める若い世代も増えつつある昨今、さらにその輪を広げるべく、新たなパフォーミングアーツシリーズとしてスタートしました。

初回となる、『花方』～序章「花の宴」では、伝承芸能に慣れ親しんだ方々は元より、初めて芸能に触れる方にも関心を持っていただけるよう、他では出会う事がかなわない貴重なトーク実施しました。

〈プログラム〉

花と浄瑠璃 | 『花の段』奥平清祥、都了中(三味線:都勝中)

浄瑠璃と舞踊 | 『道成寺』都了中、尾上菊之丞(三味線:都勝中、笛:福原友裕)

トークセッション | 尾上菊之丞、都了中、奥平清祥、岩下尚史 / 進行: 八嶋智人

『花方』～第一章「星逢いの宴」では、旧暦の七夕にあわせ「星逢い」を趣向に、いけばなの未生流笹岡家元 笹岡隆甫が活ける花を舞台美術とし、舞踊集団 菊の会が若手舞踊家を中心とした人選で群舞を披露しました。

公演後のトークセッションでは、伝承芸能に慣れ親しんだ方々は元より、初めて芸能に触れる方にも関心を持っていただけるよう俳優 八嶋智人の進行のもと、芸能の流派や成り立ちの他、継承者たちの素顔にまで迫るトークを開催、若くして芸道の世界に身を置き、そこで生きていくと決めた俊英たちは日頃どのようなことを感じているのかお聞きしました。

〈プログラム〉

いけばな | 笹岡隆甫 / サウンドデザイン: 尾島由郎

舞踊 | 舞踊集団 菊の会(武井則男、葛西輝子、飯田栄志、中村輝幸、中村英俊、

吉岡諒真、池原和樹) 笛: 藤舎貴生 / 振付: 尾上墨雪 / 構成: 尾上菊之丞

トークセッション | 岩下尚史、笹岡隆甫、舞踊集団 菊の会 / 進行: 八嶋智人

開催概要

『花方』～序章「花の宴」

開催日: 2013年3月3日(日)

会場: スパイラルホール(スパイラル3F)

主催: 株式会社ワコールアートセンター

企画制作: スパイラル

企画協力: シス・カンパニー

協力: 株式会社千總

記録写真: 岡本隆史

『花方』～第一章「星逢いの宴」

開催日: 2013年7月28日(日)

会場: スパイラルホール(スパイラル3F)

主催: 株式会社ワコールアートセンター

協力: 總屋

企画協力: シス・カンパニー

企画制作: スパイラル

記録写真: 岡本隆史



POWER OF ART DANCE SERIES VOL.2 上村なおか 森下真樹 ^か駈ける女 ^{おんな}



POWER OF ART DANCE SERIESは、ダンサーに焦点をあて、スパイラルの象徴的スペースである吹抜けの空間「アトリウム」を舞台として2012年3月にスタートしたダンスシリーズです。ダンサーと振付家、そして観る側もじっくりとダンスに向き合う場を提供しています。

本シリーズ第2弾となる「駈ける女」は、出演ダンサーに、上村なおかと森下真樹、振付はコンテンポラリーダンス界の「ゴッドマザー」とも称されるダンサー・振付家の黒沢美香が手がけました。

初顔合わせとなった本作では、アトリウムの変化に富んだ建築空間を縦横無尽に使い、2階へと続くらせん状のスロープから舞台を見下ろすユニークな鑑賞スタイルでの完成度の高い公演となりました。

開催概要

開催日：2013年4月27日(土)、28日(日)、29日(月・祝)

会場：スパイラルガーデン

ダンサー：上村なおか、森下真樹

振付：黒沢美香

衣装：萩野緑

照明：木藤歩

音響：サエグサユキオ

舞台監督：河内 崇

宣伝美術：杉 伶

写真：小宮山 桂

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

制作協力：Dance in Deed!

記録写真：塚田洋一





スパイラル聲明コンサートシリーズ vol.22「千年の聲」

『散華』と『錫杖』—— 伝統の継承と発展〈天台聲明・真言聲明・新作聲明〉



今回で22回目を迎えるスパイラル声明コンサートシリーズ。

6世紀に仏教が伝来し初めて「声明」が唱えられたのは、天平勝宝4(752)年東大寺大仏開眼供養会での四箇(しか)法要といわれており、法会を荘厳するために最初に唱える四つの曲〔唄(ばい)・散華(さんげ)・梵音(ぼんおん)・錫杖(しゃくじょう)]を四箇法要と言い、この時には千人に及ぶ僧衆が参列し盛大に行われたことが史実に記されています。

2002年にシリーズvol.9で委嘱上演した新作声明「存亡の秋」では、鳥養潮の作曲により21世紀の四箇法要が新たに誕生。今回は四箇のなかでも声明曲として完成度が高く様式性に富む「散華」と「錫杖」の2曲を取り上げ、真言、天台、そして新作によるそれぞれの「散華」と「錫杖」の聴き比べを、新井弘順の解説とともにお届けしました。

また、3月には、9.11の同時多発テロを悼み作曲された「存亡の秋」を携えたアメリカツアーも実施。ニューヨーク、フィラデルフィア、ワシントンD.C.の3都市で公演とレクチャーを行い好評を得ました。

開催概要

開催日：2014年2月24日(月)、2月25日(火)
 会場：スパイラルホール(スパイラル3F)
 出演：(声明)声明の会・千年の聲(解説・講師)新井弘順
 声明指導：孤嶋由昌、新井弘順、海老原廣伸
 作曲・音楽監修：鳥養潮
 構成・演出：田村博巳
 宣伝美術：井原靖章
 制作：スパイラル/NPO法人魁文舎/声明の会・千年の聲
 助成：芸術文化振興基金/アジア・カルチュラル・カウンシル(ACC)
 後援：公益財団法人日本伝統文化振興財団
 主催：声明の会・千年の聲/株式会社ワコールアートセンター
 記録写真：bozzo



Goro Ito | **POSTLUDIUM**
OPUSCULE I THE ISLE LUMINESCENCE — DEDICATED TO H.H. OPUSCULE III
PLATE XIX POSTLUDIUM
OPUSCULE V BLAU CHIAN
DAISY CHAIN OPUSCULE
VII THYRA

昨年スパイラルレコーズよりリリースされ、ジャンルを越境したインストゥルメンタル作として高い評価を獲得、ロングセラーとなった2nd ソロ・アルバム、《GLASHAUS(グラスハウス)》に続き、伊藤ゴローが類い稀なるハーモニーへの犀利な感覚により、その透徹した世界を深化させた新作です。

商品概要

Goro Ito / POSTLUDIUM

ゴロー イトウ / ポストリュウム

品番 : XQAW-1105

発売日 : 2013年12月4日

価格 : ¥2,857 + 税

形態 : CD

レーベル : SPIRAL RECORDS

ジャンル : JAZZ / CLASSIC / BRASIL

(All Composed & Produced by Goro Ito)

Goro Ito 《POSTLUDIUM》



2013年度大河ドラマ『八重の桜』の音楽を担当し、女優であり歌手でもあるJane Birkinのワールドツアーに音楽監督／ピアニストとして参加、27ヶ国を回るなど、広くその才能が評価される中島ノブユキ。

これまで、明晰な和声へのアプローチと、エレガントなアレンジワークにより、色彩ゆたかな情景を描くことを得意としてきた彼が、ピアノソロ・アルバムとしては2枚目となる今作《clair-obscur》では、「音」の生起に耳を澄まし、響きが通いあう場所に、過ぎ去った時間の、未生の音楽を呼び覚ますー。

初出を多く含む、自身の楽曲のみで構成されたホール録音作。

商品概要

中島ノブユキ／clair-obscur
 品番：XQAW-1106
 発売日：2014年2月19日
 価格：¥2,857 + 税
 形態：CD全8曲収録
 レーベル：SPIRAL RECORDS
 ジャンル：CLASSIC / JAZZ
 (All Composed by Nobuyuki Nakajima)

中島ノブユキ 《clair-obscur》



MEGASTAR × CAY Presents COSMOS 星に囲まれたコンサート ～Let me play among the stars～



ギネスにも認定されたプラネタリウムの開発者、大平貴之の手がけるMEGASTARをスパイラルB1のCAY店内に設置。

満天の星を感じながら、宇宙の壮大さと音楽の素晴らしさを同時に楽しむ企画を開催しました。

Buffalo Daughter (electric acoustic set)、青葉市子、Takuji、阿部芙蓉美などのミュージシャンの他、また、スペインのSONARフェスティバルで、プラネタリウムのための音と映像作品を制作したsawakoと、開発者の大平貴之のセッションも披露。メディア・アーティストsawakoのサウンドに合わせて、大平貴之が直々にMEGASTARを操作し、自由な星空の動きを演出しました。

2014年4月より、CAYは気軽に音楽を楽しめるRestaurant & Barとしてリニューアルいたします。

開催概要

開催日：2014年3月26日(水)、27日(木)、28日(金)

出演：26日 Takuji、阿部芙蓉美、sawako+大平貴之(コズミック・オペレーション)

27日 Buffalo Daughter(electric acoustic set)、haruka nakamura LABO (haruka nakamura + AOKI, hayato + ARAKI Shin)、大平貴之+KIKI(トークセッション)トークナビゲーター：藤原徹平

28日 melodia(federico durand & tomooyoshi date)、青葉市子

主催：CAY

共催/後援：大平技研





「+S」Spiral Market 丸の内



スパイラルマーケットが展開する新スタイルショップ「+S」Spiral Market(「プラスエス」スパイラルマーケット)が、2013年3月21日(木)にKITTE 丸の内(キッテ マルノウチ)にオープンしました。

2011年に誕生した「+S」Spiral Marketは、スパイラルマーケットのコンセプト「Eternal Design(エターナルデザイン)」をベースに、立地するエリアに合わせたオリジナルのセレクトを加え、店舗ごとに特徴のあるラインナップで新しい生活の提案を行っています。

2店舗目の出店となる「+S」Spiral Market 丸の内では「STANDARD」をテーマに、新旧問わず次代に受け継がれるであろう永く愛用できる上質なアイテムを国内外から厳選してご紹介するほか、ものづくりの核となる「素材」に光を当て、プロダクトをご紹介するイベントスペース《Creators Table》を展開しています。

店舗概要

店舗名：「+S」Spiral Market 丸の内
 (「プラスエス」スパイラルマーケット マルノウチ)
 施設名：KITTE 丸の内(キッテ マルノウチ)
 住所：東京都千代田区丸の内2-7-2JPタワー KITTE丸の内1F
 TEL：03-6273-4606
 営業時間：11:00～21:00(日祝11:00～20:00)
 定休日：無休
 オープン：2013年3月





Spiral Market Selection



スパイラルマーケットでは、独自の視点で注目するクリエイターをセレクトし、期間限定で作品を展示販売しています。土、ガラス、布、木などの素材に、作り手の技術やこだわりが加わり、温かみのある作品をご紹介します。

2013年度(2013年4月～2014年3月)は下記のラインナップで展示を開催しました。

4月5日～4月18日	vol.264 「フジタチサト 生きものやきもの展」
4月19日～5月2日	vol.265 「加藤 かずみ 陶展」
5月3日～5月16日	vol.266 「北の模様帖 2013」展
5月17日～5月30日	vol.267 「S+N 雨粒ひろう、その前に」
5月31日～6月13日	vol.268 「河上智美 暮らしの硝子」
6月14日～6月27日	vol.269 「Print on rhythm」
6月28日～7月11日	vol.270 「夏のスパイス」展
7月12日～7月25日	vol.271 「光をたずさえて」
7月26日～8月11日	vol.272 「norioはんこ展」
8月17日～8月29日	vol.273 硝子企画舎グループ展 「ガラス素材でできることー硝子企画舎と11人ー」
8月30日～9月12日	vol.274 「kata kataー群れー」
9月13日～9月26日	vol.275 「ANIMALS IN THE CLOSET」
9月27日～10月10日	vol.276 「PAPER&BOX」
10月11日～10月24日	vol.277 「Pottery and Porcelain Jewelry」
10月25日～11月7日	vol.278 「Les Montagnes」
11月8日～11月21日	vol.279 「山田洋次 スリッパの器」
11月22日～12月5日	vol.280 「日本のかたち」
12月6日～12月25日	vol.281 「Pfütze 『accessory exhibition 2013』」
12月26日～1月16日	vol.282 「Sharing」
1月17日～1月30日	vol.283 「アヴリルの糸あそび」
1月31日～2月13日	vol.284 「うつわのレシピ」
2月14日～2月27日	vol.285 「Sunday Tea Time」
2月28日～3月13日	vol.286 「花のうつわ、暮らしのうつわ展」
3月14日～3月27日	vol.287 「秋谷茂郎 陶展ー春を楽しむうつわー」



minä perhonen + musubi ちょうむすび



スパイラルのエントランス横のスペース「ショウケース」では、季節に合わせたショップや、ギャラリーの企画と連動したイベントなど、バラエティ豊かに展開しています。

人気ファッションブランド、minä perhonen(ミナ ペルホネン)と、京都の風呂敷専門メーカー「山田繊維」のブランド「むす美」による新作「ちょうむすび」の展示では、トラフ建築設計事務所によるディスプレイをエレベーターホールまで展開しました。

開催概要

開催日：2013年10月26日(土)～11月4日(月・振替休日)

会場：エントランス/ショウケース(スパイラル1F)

会場構成：トラフ建築設計事務所





Spiral Café

3月 夜のカフェライブ

3/3 妹尾美里 (Misato Senoo) + 杉本智和 (b)

神戸市出身。音楽好きの母の影響で幼少の頃より様々な音楽に親しむ。自宅にあったピアノを自由に弾くうちに興味を持ち始め、3歳よりピアノを習い始める。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。ミッシェル・ベトルチアーニの音楽に触れたのをきっかけに、より自由な自己表現の世界に惹かれ、ジャズを嶋本高之氏に師事。現在は東京を拠点にオリジナル音楽での活動を展開。

<http://www.misatosenoo.com>



3/12 西山 瞳 (Hitomi Nishiyama)

6歳よりクラシックピアノを学び、18歳でジャズに転向。大阪音楽大学短期大学部音楽科音楽専攻ピアノコースジャズクラス在学中より、演奏活動を開始する。2005年、横浜ジャズプロムナード・ジャズコンペティションにてグランプリ受賞。2010年、アメリカで最大規模の作曲コンペティションであるインターナショナル・ソングライティング・コンペティション2009で、自作曲「アンフォールディング・ユニバース」がジャズ部門で3位を受賞。オリジナル曲は、高い作曲能力による緻密な構成とポップさの共存した、ジャンルを超えた独自の音楽を形成し、幅広い音楽ファンから支持されている。

<http://hitominishiyama.net/>



3/15 富樫春生 (HAL-Oh Togashi)

プロデビュー以来、山口百恵、松田聖子から今井美樹、SMAPまで録音に携わった楽曲は優に1万曲を超える。吉田美奈子や後藤次利バンドを経て85年に近藤等則IMAに参加。2000年科学技術省の映像祭でピアノを弾いた『草間の宇宙／栗林慧』が内閣総理大臣賞受賞。ラルクアンセル、CRAZE、ペニシリンなどのproduceなども手がける。

<http://www.hal-oh.com>



3/20 山田貴子 (Takako Yamada)

国立音楽大学ピアノ科、ボストン・パークリー音楽大学卒業。パークリー在学中よりボストン近郊にて演奏活動を行う。帰国後、浅草ジャズコンテストバンド部門銀賞、他多くの賞を受賞。2012年より『須藤元氣率いるWORLD ORDER LIVE』国際フォーラムやNHKホール・武道館でのコンサートに参加。2013年千葉市より千葉市芸術文化奨励賞を受賞。現在、自己のGroupを中心に多数のグループにて活動中。2013年10月30日に3rdアルバム『The Flow Of Time』をリリース。

<http://www8.plala.or.jp/takakohp/>



開催概要

主催／会場：スパイラルカフェ

開催時間：Start 1st 20:15 / 2nd 21:15

投げ銭制

スパイラル1Fのスパイラルカフェでは、2013年度より「夜のカフェライブ」をスタート。毎月個性的なピアニストによるミニコンサートを開催し、夜の賑わいを演出しています。

メニューでは、「焼き立てスフレパンケーキ」を販売を開始しました。厳選されたこだわりの地卵とハチミツを使ったスフレパンケーキに、パフェ仕立てのフルーツソースを添えるというスタイルが好評を博しています。



焼き立てスフレパンケーキ

- ベリーMIX、ブラリネ、ハニーバナナのソース
 - マンゴー、バナナ、ココナッツバナナのソース
- 単品950円 セット1,500円





スパイラル7Fのトータルビューティサロン「アモ園」では、シーズンごとのネイルアートをご提案する「NAIL ART DESIGN BOOK」を2013年より発行しています。

アモ園、ネイラ各店舗のネイリストが手がける美しいデザインをご紹介します。

2013年度は以下のテーマで発行いたしました。

2013 Summer 「SEASIDE」

2013 Autumn 「AVENUE」

2013 Winter 「PARTY」

2014 Spring 「COLORS」

年四回発行
スパイラル館内、「アモ園」/ネイラ各店にて配布





© FUJIKO NAKAYA



© SHUNTARO TANIKAWA



© YAYOI KUSAMA / Dogo Onsenart 2014

道後温泉本館改築120周年を記念し、愛媛県松山市の温泉街、道後を舞台に開催されるアートフェスティバル「道後オンセナート(DOGO ONSENART)2014」の総合プロデュースをスパイラルが行なっています。

道後の10箇所のホテル・旅館の各1室が草間彌生をはじめとした著名アーティストたちの作品に変わり、宿泊できるアート作品群「HOTEL HORIZONTAL(ホテルホリゾンタル)」や、体験型アートをエリア内に点在させ、昼も夜もまちを巡りながら道後の魅力を引き出すプログラムを実施します。

2013年は12月24日よりプレオープンとして、5つのホテルにて、草間彌生、荒木経惟、皆川明、谷川俊太郎、石本藤雄が客室を作品化しました。

長年のスパイラルの活動で培ったネットワークを活かした様々なアーティストが参加するほか、地域のこれからの担う地元クリエイターたちが運営に参加し、会期後もサスティナブル(持続可能)なコミュニティ作りを行う、全く新しいアートフェスティバルです。

開催概要

名称：道後オンセナート 2014 (DOGO ONSENART 2014)

テーマ：最古にして、最先端。温泉アートエンタテインメント。

会場：道後温泉およびその周辺エリア

会期：プレオープン 2013年12月24日

グランドオープン 2014年4月10日

フィナーレ 2014年12月31日

主催：道後温泉本館改築120周年記念事業実行委員会

特別協賛：全日本空輸株式会社、じゃらん、株式会社資生堂、株式会社ビームス

協賛：日本航空株式会社、楽天トラベル株式会社、株式会社一六本舗、伊予銀行、

愛媛銀行、愛媛信用金庫、株式会社ワコールホールディングス、

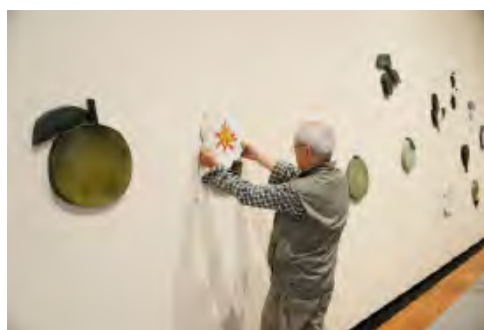
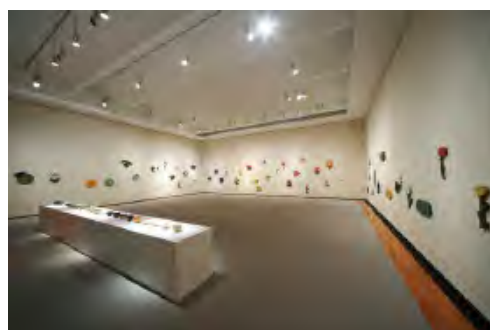
株式会社愛媛ジェーシービー

記録写真：川井征人(Capsule)



© JIRO HIRANO / Dogo Onsenart 2014

道後オンセナート 2014 (DOGO ONSENART 2014)



スパイラルで2012年に開催した、石本 藤雄『布と陶-冬-』の巡回展が、2013年9月に、愛媛県美術館（愛媛県／松山市）で、『布と遊び、土と遊ぶ』として開催されました。

1970年にフィンランドに渡り、現在までその地でテキスタイルデザインや作陶活動をおこなってきた、石本 藤雄にとって初めてとなる、故郷・愛媛での大規模な展覧会となりました。

石本 藤雄の原風景は、故郷である砥部の広大な自然です。石本にとって、幼少期の記憶として存在する、この地での体験が、現在の豊かな色彩感覚や造形へのまなざしを育み、詩的情緒をまとった作品としてあらわれています。

会場では、石本が“無限の可能性を感じる”と話す、花をモチーフとした陶のレリーフとテキスタイルを中心に、数十点におよぶ、新作の陶作品を加えて展開。また、地元の有志による「石本 藤雄展実行委員会」主催により、メイン会場である愛媛県美術館に加え、2カ所のスペースで展示を行いました。

日本とフィンランドという、2つの土地や自然が作家のなかで結びつき、作品へとひろがっていくようすを、作家の原風景である砥部を巡りながら辿ることができる企画となりました。

開催概要

会期：2013年9月26日（木）～10月11日（金）＊全会場共通

会場：愛媛県美術館 新館2F 特別展示室（松山市／メイン会場）

砥部町文化会館（伊予郡／一部作品展示） 茶波瑠（松山市／展示と販売）

主催：石本 藤雄展実行委員会

共催：愛媛県美術館・砥部町文化会館

企画制作：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

協賛：伊予銀行、愛媛銀行、愛媛信用金庫、学校法人河原学園、有限会社大久保運送、砥部焼千山、茶波瑠、有限会社ヨゴホームズ、株式会社三木、株式会社アートコア松山、株式会社ブリヂストン松山タイヤセンター、済美高校、株式会社松山建装社

協力：Marimekko Corporation、有限会社スコープ

企画協力：滝本英子、藤井園子

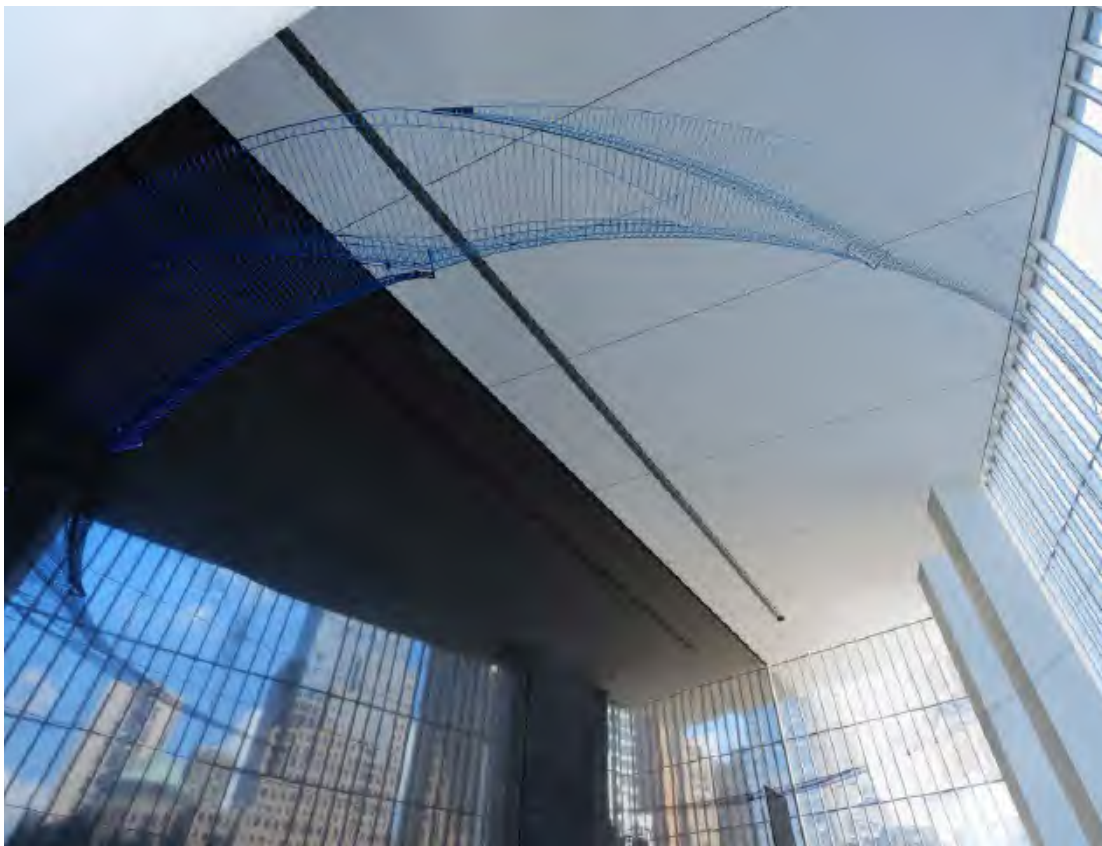
後援：フィンランド大使館、フィンランドセンター、松山市教育委員会、砥部町、

砥部町教育委員会、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、

愛媛朝日テレビ、愛媛CATV

記録写真：石本 藤雄展実行委員会

石本 藤雄展『布と遊び、土と遊ぶ』



スパイラルは、アートコートギャラリー（大阪市／北区）との協働プロジェクトのもと、2013年11月にオープンした4 World Trade Center(New York)のエントランスロビーに、西野康造による彫刻《Sky Memory》を設置しました。

これは、2001年にアメリカ同時多発テロにより崩壊した、World Trade Centerの跡地に新たに建設されたWorld Trade Center Complexの中の1棟である、4 World Trade Centerに唯一の日本人アーティストとして作品が選ばれ、恒久設置されたものです。

超軽量のチタン合金製の線材を手作業で溶接し、絶妙なバランスで支えられた作品は、会場内のかすかな空気の流れを取り込み、まるで動力源を備えているかのように、ゆるやかで微細な動きをみせ、西野の作品に揺籃するテーマである「悠久の時の流れ」を、観るものに体験させます。

アーティスト：西野康造（にしのこうぞう）

素材：チタン

サイズ：約30m（半円形）

総重量：約190kg

制作年：2009－2013年

設置場所：4 World Trade Center 1F エントランスロビー（150 Greenwich Street, New York）

オープン：2013年11月

企画制作：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター、アートコートギャラリー

記録写真：豊永政史



西野康造《Sky Memory》設置



2012年9月に行われた全国都市緑化フェア2012「NEW GREEN STORIES アートが紡ぐ、新たな公園の時間」展への出展作品として、アーティスト鈴木康広氏と(株)中村製作所とのコラボレーションから生まれた「屋根のベンチ」が、ヴァンジ彫刻庭園美術館に新たな常設作品として庭園内に設置されました。

アーティスト：鈴木康広
クライアント：ヴァンジ彫刻庭園美術館
サイズ：約H1.5m×W6m×D4m
製作：株式会社中村製作所
コーディネート：株式会社ワコールアートセンター
設置：2014年3月
設置場所：ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡県三島市）



鈴木康広「屋根のベンチ」設置



スパイラルマーケットでもおなじみのマスキングテープのブランド「mt」を率いるカモ井加工紙株式会社（岡山県倉敷市）の春の工場見学を兼ねたエキシビションに参加。2012年にスパイラルガーデンで展覧会を行ったオーストラリアのアーティスト、Pip&Popが2週間かけて制作しました。

作品テーマは、桃太郎を生んだこの場所にちなみ、「宝の山」。山のあちこちに小さな宝物がひそんでいます。

制作：2014年3月10日～26日
 設置期間：2014年3月26日～4月6日
 会場：カモ井加工紙株式会社（岡山県倉敷市）
 主催：カモ井加工紙株式会社
 企画協力：スパイラル
 courtesy of mt - making tape
 記録写真：木奥恵三



Pip&Pop 《mt factory tour vol.3》 “Through a hole in the mountain”



「子どもは街で育てよう」をキーワードに、2007年から毎年秋に開催する恒例の「ピノキオプロジェクト」を開催。ららぽーと柏の葉、マルシェコロールなどを主会場に、約400人の子どもがお仕事体験を行いました。2013年11月23日開催。

スマートイルミネーション横浜ではじまった高橋匡太「ひかりの実」を、2013年12月に柏の葉キャンパスにおいても実施。地元のボランティアスタッフの参加を得て、4日間のワークショップを実施し、12月26日まで約2週間展示しました。期間中、アーティスト参加によるトークショーも開催（ららぽーと柏の葉）。



柏の葉キャンパスシティ「ピノキオプロジェクト」、「ひかりの実」ワークショップ



写真: KEN KATO

象の鼻テラス



2013年 実施プログラム

スマートイルミネーション横浜

ー省エネ技術とアートでつくるもうひとつの横浜夜景ー

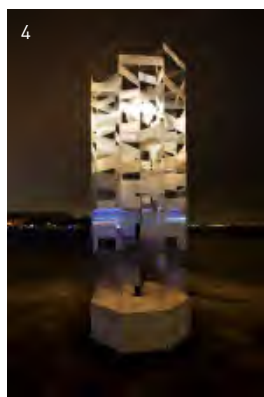
「スマートイルミネーション横浜」は、長年にわたって優れた都市景観の形成に取り組んできた横浜都心臨海部を舞台に、2011年よりスタートした新たな夜景の創造を試みるアートイベントです。「光と影を巡る夜」をテーマに展開エリアや作品数を大幅に拡大した2012年に引き続き、2013年は「みんなでつくる横浜夜景」をテーマに、地元企業や市民による参加プログラムを増やし、新たに「スマートイルミネーション・アワード」を設け、若手アーティストや学生の作品発表の場となりました。(スマートイルミネーション横浜実行委員会事業)

SLOW LABEL (スローレーベル)

「SLOW LABEL (スローレーベル)」はスパイラルが、横浜市の委託を受けて立ち上げた手作り雑貨ブランド。地域の福祉作業所とアーティスト、地元企業のコラボレーションによって商品開発を行うことが特徴で、福祉を主目的とするのではなく、大量生産の制約によって狭められた創造性を、手作りによって突破しようという商品開発の思想を持っています。2013年度は徳島県でも商品開発を行い、名産の天然藍を使った「BLUE BIRD COLLECTION」を発表。また商品開発にとどまらず、スローレーベルの商品づくりに一般市民も参加できる「ファクトリー」として、手でものをつくる体験を軸に、市民スタッフも巻き込みながら各地で活動を展開しています。

Port Journey Project (ポート・ジャーニー・プロジェクト)

象の鼻テラスのコンセプト「文化交易」を深堀りし、横浜市と同様に、豊かな文化戦略をもつ港湾都市をつないで新しいカルチャーネットワークを構築するためのアートプログラム。互いの文化背景を軸に、相互の特徴的なアーティストを輸出入、催事の交換実施を目的としています。2013年度は、オーストラリアのメルボルンで展示を行った日本人アーティスト、さとうりさの帰国報告展を開催しました。(横浜市委託事業)



- 1 アーティスト名: Numen / For Use
作品名: Net Blow-Up
- 2 アーティスト名: 高橋匡太
作品名: Wrapping the City Lights 2013
ー既存都市照明のカラーチェンジー
- 3 スマートイルミネーション・アワード
最優秀受賞作品
作品名: Light Bottles
作家名: 榎村和英
- 4 スマートイルミネーション・アワード
最優秀受賞作品
作品名: TO / TO 透 / 燈
作家名: LENGA
(早稲田大学理工学術院創造理工学研究所
建築学専攻入江正之研究室)

写真: アマノスタジオ

象の鼻テラスは、横浜市・開港150周年事業として、2009年6月2日に開館しました。

象の鼻パーク内にアートを兼ね備えたレストハウスとして整備され、「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を推進する横浜市文化観光局の委託により運営しています。

多彩な来場者層に向け、インスタレーション、演劇、映像、ワークショップなど様々なジャンルの自主プログラムを随時開催するほか、併設した象の鼻カフェでは、文化プログラムに連動したメニューの提供等も行っています。



写真: KEN KATO





武蔵野美術大学名誉教授、北欧デザイン研究の第一人者である島崎信氏を学長に、私たちの暮らしを支える「日用品」に焦点を当て、背景とストーリーから「美しい暮らし」を考えるスクールプログラムを開催しました。

食卓でいつも手にするグラスやお皿、誰もがどこかで目にしたことのある机や椅子。

ひとつの「もの」が生まれて、私たちの暮らしに欠かせない「日用品」となるまでのプロセスを、「よむ」「つくる」「うる」「ひろめる」「つかう」の視点で多彩なゲストと学びながら、これからのものづくりのあり方を探りました。



開催内容

第1回「100年企業に見る、家具ビジネスの未来」

開催日：2012年9月21日(金)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：島崎信(美しい暮らしの学校 学長)

第2回「古いからこそ、美しい。ヴィンテージ輸入ビジネスの鍵に迫る」

開催日：2012年10月26日(金)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：今田恵一(グリニッチ)
渡辺賢二(ベルベット)
山口太郎(北欧家具t.a.l.o)

第3回「無駄を徹底的に省いた、ビジネスモデルの機能美。美しい暮らしを支える経営とは？」

開催日：2012年11月22日(木)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：青木耕平(株式会社クラシコム 代表取締役)

第4回「ブランドのストーリーを伝える、空間構成の技術。Marimekkoのケーススタディ」

開催日：2012年12月21日(金)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：小林恭、小林マナ(設計事務所ima)

第5回「家具から始まる、生活提案。フリッツハンセンのある暮らし」

開催日：2013年1月25日(金)
会場：スパイラルホール ホワイエ(スパイラル3F)
講師：砂原啓三(REPUBLIC OF FRITZ HANSEN STORE代表)

第6回「ものとの縁の結び方。自分で選んで使い続ける。」

開催日：2013年2月22日(金)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：島崎信(美しい暮らしの学校 学長)

第7回「今という時代に流れる、デザインを読む」

開催日：2013年3月22日(金)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：川上典李子(21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター、デザインジャーナリスト)

第8回「『布』が発するメッセージ。伝統から生まれる日本の技術と素材の魅力」

開催日：2013年4月19日(金)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：須藤玲子(テキスタイルデザイナー、NUNO代表)

第9回「『ELLE DÉCOR』編集長の語る、新しい時代における情報メディアの役割」

開催日：2013年5月24日(金)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：木田隆子(『ELLE DÉCOR』編集長)

第10回「世の中の体温をあげる、新しい価値の広めかた」

開催日：2013年6月21日(金)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：遠山正道(株式会社スマイルズ代表)

第11回「過去と現在をつなぐ、絵画修復家の仕事とは」

開催日：2013年7月26日(金)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：加賀優記子(絵画修復家)

第12回「これからの美しい暮らし」

開催日：2013年9月5日(木)
会場：アンクルハット(スパイラル9F)
講師：島崎信(美しい暮らしの学校 学長)他

spiral®